

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 319 号	氏名	都築 中
学位審査委員	主 査 森田 公一 副 査 由井 克之 副 査 山本 太郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は熱帯地域に生息するデングウイルス媒介蚊のうち最も重要なネッタイシマカについて熱帯地域の都市環境における蚊発生源の合理的特定と対策時期を明らかにして、熱帯地域で多くの患者が発生しているデング熱・デング出血熱の対策に役立てようとするものであり、研究の動機や目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究方法の評価</p> <p>ベトナム国の中規模の都市であり、毎年デング熱の流行をみるニャチャン市において 2 地域を設定し高温乾季と低温雨季に家屋訪問により発生源調査をした手法、および蛹数のアウトブレイク閾値を利用して蚊密度を評価した手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記の手法による一連の調査と解析により、196 家屋、1,438 容器において詳細な幼虫、蛹数の状況があきらかになり、アウトブレイク閾値による解析によってデング流行を促進すると考えられるネッタイシマカ発生源が特定された。また、このような都市環境においては降雨量よりも高い気温がデング感染リスクに影響することが明らかになった。したがって、デング媒介蚊対策に利用できる資源が限られた地域においては気温が高くなる夏季に集中的な発生源対策をすることによって感染リスク（患者数）を効果的に減少させうる可能性を示唆したものである。本研究は熱帯地域の都市環境でのデングウイルス媒介蚊対策に貢献するところ大であり、審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			